令和6年 第8回
紀の川市教育委員会定例会議事録

1 開催日時	令和6年8月27日(火)午前9時28分～
2 会 場	紀の川市役所 4階 402 中会議室
3 出席者	貴志康弘・長谷弘司・西平哲也・小川真司
4 欠席者	上中史子
5 出席職員	教育部長 藤井丈士・教育審議監 岡本紹子・次長兼教育総務課長 楠部昌洋・教育総務課学校再編推進室長 柑本浩至・教育総務課副 課長 谷福靖司・次長兼生涯学習課長 脇谷卓也・生涯学習課副課 長 小西晴久・生涯スポーツ課長 山中邦弘・統括人事主事 三嶋 和哉・統括指導主事 榎戸多恵・主任指導主事 松尾千鶴・主任指 導主事 森口裕介・教育総務課主事 田中奈々
6 傍聴者	なし
7 協議事項	

◎開会の宣告

○教育長

皆さん、おはようございます。
台風10号の進路が気になるところです。
本日上中委員さんから欠席の連絡をいただいております。
ただ今から令和6年第8回紀の川市教育委員会定例会を開会させていただきます。
それでは、議事日程に従い進めさせていただきます。

◎会議録署名委員の指名

○教育長

日程第1、会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員には、長谷委員、西平委員を指名します。よろしく願いいたします。

◎会期の決定

○教育長

日程第 2、会期の決定を行います。

会期は本日 1 日間としたいと思いますが、これに異議ございませんか。

(異議なしの声)

○教育長

ご異議がないようですので、会期については本日 1 日間と決定いたしました。

◎諸般の報告

○教育長

日程第 3、諸般の報告を行います。

諸般の報告につきましては、私のほうから 2 点ばかり報告させていただきたいと思
います。

1 点目は、全国中学校総合体育大会に打田中学校陸上部の前春馬君が 3,000m で出場し、
決勝で 8 分 36 秒 12 の素晴らしい記録で 4 位に入賞いたしました。また、貴志川中学校
柔道部の森田琉煌君が 55 キロ級で、森田琉心君が 60 キロ級で、納谷寿輝哉君が 90 級、
丹羽拓大君が 90 キロ超級で出場いたしました。

なお、近畿総合体育大会で打田中学校の前春馬君が優勝し、貴志川中学校柔道部の森田
琉心君と丹羽拓大君が 3 位に入賞しております。日頃の練習の成果が出た素晴らしい結
果だと思います。

2 点目は、近畿市町村教育委員会研修大会と和歌山県市町村教育委員会教育委員研修会
及び和歌山県市町村教育委員会連絡協議会研修会につきましては、まだ要綱等が来てお
りませんので次回に連絡をさせていただきます。

諸般の報告につきましては、私のほうから 2 点ばかり報告させていただきました。

これについてご質問・ご意見等はございませんか。

(発言する者なし)

○教育長

諸般の報告については終わります。

◎議案第 23 号について

○教育長

日程第 4、議案上程。

議案第 23 号、令和 7 年度使用教科用図書の採択について説明を求めますが、この議案につきましては秘密会にさせていただきます。記録は取りますが公表はいたしません。関係者以外の退席を求めます。

(退席)

○教育長

それでは、議案第 23 号について説明を求めます。

○主任指導主事

(説明)

○教育長

ただ今主任指導主事から説明がありましたが、これについて何かご意見・ご質問等はありませんか。

(発言する者なし)

○教育長

特に意見がないようですので、議案第 23 号について承認することに異議ございませんか。

(異議なしの声)

○教育長

異議なしと認めます。

それでは、議案第 23 号、令和 7 年度使用教科用図書の採択については承認されました。関係者は入室してください。

(入室)

◎議案第 24 号について

○教育長

それでは、再開いたします。

続いて、議案第 24 号、令和 6 年度一般会計 9 月補正予算（教育部関係）について説明を求めます。

○教育総務課長

○生涯学習課長

【令和 6 年度一般会計 9 月補正予算（教育部関係）について説明】

○教育長

ただ今説明がありましたが、これについて何かご意見・ご質問等はありませんか。よろしいですか。

（発言する者なし）

○教育長

議案第 24 号について承認することに異議ございませんか。

（異議なしの声）

○教育長

異議なしと認めます。

それでは、議案第 24 号、令和 6 年度一般会計 9 月補正予算（教育部関係）については承認されました。

議案については以上です。

◎令和 6 年度全国学力学習状況調査の結果について

○教育長

続きまして、日程第 5、報告事項。

令和 6 年度全国学力学習状況調査の結果について説明を求めます。

○主任指導主事

【令和 6 年度全国学力学習状況調査の結果について説明】

○教育長

ただ今説明がありましたが、これについて何かご意見・ご質問等はありませんか。

○A 委員

新聞を読まないというところで少し質問があるのですが。

実際私自身も最近老眼がきつくなってきて、新聞はほとんど読んでいないのですが、代わりにネット上のニュースは必ず見るようにしています。ただ、ネット上なので興味のあること以外はあまり見ないのですが、それでもやっぱり情報を得るためにはいい方法だと思います。

この表にある新聞を毎日読むという回答は、恐らく読んでいると思うのですが、週に1～3回や、月に1～3回という回答は、新聞を読んでいないのと一緒に、ほとんどの子供は新聞のテレビ欄を見るついでに何か見る等の程度だと思います。

せっかくタブレットを持っているので、そこから何らかの形で時事ニュースへ入っていく方向にならないでしょうか。新聞社と契約すると恐らく高くなるし、どの新聞にするかで色々問題は起きると思うのですが、ヘッドラインだけでもヤフーを使うのか、何らかの形で少しでも時事ネタに興味持ってもらえるようにするという事は少し難しいのでしょうか。

以上です。

○主任指導主事

スマホもそうですが、ネットを通してタブレットなどからのほうが子供たちも情報に対するハードルが低いのではないかと考えて、現在新聞社のほうから資料を取り寄せて考えているところです。年間の使用料が学校全体でだいたい10万円ぐらいになるということなので、そんなに高くもないと思うのですが、少しそのことも検討しながら、A委員おっしゃったように、子供たちが得やすい方法で情報を取り入れていくという方法を考えていくのは教育委員会として必要だと感じております。

以上です。

○教育長

よろしいですか。

他に。

○B委員

結果として出てきているものと、その原因、そして対応策ということで挙げていただいています。その分析が果たして正しいのかというところの精査というのをやはりもう少ししたほうが良いと感じます。

経年で何年間の経過でやはり見るべきで、そういうところからしてきたアプローチが正しかったのかどうなのかという検証をもう少し精査すべきではないかと思えます。目当て等もすごく大切なことだと思うのですが、恐らくこの辺への力の入れ方というのは何年もされていると思えますし、学校訪問をしても目当てを書かない先生はほとんどい

らっしゃらない、きちんと書かれているなと思います。そういうところから、やはり注視すべきところがずれてきている可能性があるのではないかと思います。なので、原因の分析と結果の新たなアプローチというところにつきましては、どのようにこれを分析されたのかというところにもよるのでしょうか、少し皆さんの叡智を結集して取り組んだほうが良いかなと思います。

先程A委員言われたところについても、やはりまとめる力っていうのがどうしても弱い、文章題に関して。時事ネタということも含めて考えた時に、よく僕が中学校の時とかあったのが、朝に天声人語の書き写しというバージョンと天声人語を100字にまとめるっていうバージョンありました。これは時事ネタを含めたり、文章をまとめたりという上で有効で、それほどお金がかかるものではないので、そういうのが良いと思っています。

後、全体のことに關してですが、僕が学校訪問に伺ってよく感じるのは、目当てよりも最後のまとめの部分、ここが少し軽視といいますか、どうしても時間の最後にバタバタしてしまうのもわかるのですが、そこから逆算した1時間の作り方に力を入れることのほうが成果を上げることができるのではないかと個人的には思います。やはり楽しく感じるということはいいと思います。楽しくしてくれていると思うのですが、授業が楽しいのかといった時に少し子供たちの表情がそうでもないこともあるので、ワクワクを感じるような授業の作り方とか、そういうふうな構成も案外大事なことだと思ったりもします。

少し取りとめのないコメントになりましたが以上です。

○教育長

ありがとうございます。

○主任指導主事

貴重なご意見ありがとうございました。

私も結果の分析に取り組んでいまして、果たしてこれが効果的な分析あるいはその本髄を捉えたものになっているかどうかというのは、迷いながらの部分もありました。指導主事もたくさんいますので相談しながらまた少し考えていきたいと思っています。ありがとうございます。

それから、授業の目当てというところも含めて、やはり振り返りという話をさせてもらったのですが、しっかりと子供たちが振り返りながら、先生自身も振り返りながらという部分も力を入れていきたいと考えていますので、また参考にさせていただいて活かしていきたいと思っています。

ありがとうございました。

○C委員

私も新聞で発表があった時に、少し中学校は頑張らないといけないなという印象を持ちました。

そのなかで授業改善を色々工夫されていると思いますが、資料の理科の勉強は好きですかというところですね。少し全体的にまとめて中学校のほうが低いように感じるのですが、まずその理科の授業というのは子供たちが興味・関心を持ってワクワクするような授業展開ができる教科の一つだと思います。そこで少し評価が低いということはやはり授業にワクワク、ドキドキの工夫が理科の授業だけでなく、これは全体的に必要なのではないかと思えます。子供たちが興味を持ってワクワク、ドキドキ、これについて知りたいな、もう少し掘り下げてみようか、そういう授業展開に持っていければ、学力も伴ってくるのではないかなというふうに感じております。

それと、先程 B 委員さんからもありましたが、やっぱり授業の振り返り、まとめ、もうロイロノートで送ってくださって終わるのではなくて、やはりノートに書くということもこれからも大事だと思います。ですから、そういった振り返り、今日 1 時間の授業のまとめ、それをやはり自分の物にしていくためにノートに書くとか、タブレットに打ち込んで保存しておくとか、そういう取り組みも大事だというふうに思います。

それともう 1 点、新聞の件ですけども、新聞を購読していない家庭も増えてきていると思います。自分自身も割と自由な時間があるので、新聞は必須アイテムで、興味のあることと知りたいことだけでなく、紙面をめくるとコラム等の色んな情報が載っているので、教育に関することはできるだけ切り抜いたりするようにしています。それ以外のことも、趣味のこととか園芸のことであるとか色んなことが載っているのも、それも少し目を通すだけで自分の充実感というか、今日は新聞をよく読んだなというふうになります。

子供たちもお家で新聞を購読しているのであれば、パラパラとめくって興味のあるところを見るだけでもいいと思うので、学校で新聞購読するというのは難しいと思うのですが、新聞の効用というものもあると思うので、先生がホームルームで新聞にこんなこと載っていたと紹介するだけでも、見てみようというふうに持っていけたらいいなと思います。

それから、小学校は及第点としても中学生は先生方の努力もしていただいて、進学も控えていますので、やはり成長するようにしたいです。中学校から高校、高校へ行行って今度進学する時には全国と競争しないといけないということになってきます。ですから、小学校で基礎をしっかりして、中学・高校で力をつけて全国と勝負できる子供たちに育ててほしいなと願っています。

以上です。

○A 委員

もう一つ気になる点がありまして、中学校の数学の授業の内容はよくわかりますかという質問について、紀の川市はすごく理解しているという結果なのに点数が低いという

のが少し問題だと思います。やはりわかったつもりになりすぎているのではないかと。

先程 C 委員と B 委員おっしゃられていましたけど、最終は振り返って、これが本当にわかっているかどうかという確認をしておかないと、先程 C 委員もおっしゃられていましたが、やはり昔は書いていたので何となくは覚えているのですが、今は書くことが減っているんで、わかったつもりになりすぎているのではないかと思います。それが一番怖いことだと思います。何がわかっていて、何がわからないのかというのを、しっかりその辺りを確認する方法、先生方も大変だと思うのですが、やはりそうでないとこの表と試験の結果の乖離が危ないのではないかと思います。

以上です。

○主任指導主事

おっしゃるとおりで、そのところは分析した結果を先ほど言わせていただいたのですが、やはり子供たちがわかったと言って、そして楽しく学校に通っている。先程 B 委員からもありましたが、それはすごくいい事なのですが、やそれだけでは駄目だと思うので、目標の設定がそもそも間違っているのか、レベルが低すぎるのか、あるいはその目標を達成するような言語活動ができてないのかということではしっかりと見取っていきながら、これからも調査を続けていきたいと思います。

貴重なご意見ありがとうございます。

○教育長

他にございますか。

○B 委員

この数字に現れてくる部分というのが、その授業の内容であったり、やり方であったりですが、それ以外の部分で少し気になっている点があって、それが子供たちの精神的な部分というか気持ちです。モチベーションとか、逆に不安がゆえに集中できない。

先日私粉河中学校の 2 年生を対象に道徳の授業で、働くということについてお話をさせていただいたのですが、不安を感じているお子さんって結構たくさんいらっしゃって僕びっくりしました。やはり何のために勉強するのかという質問もその後上がってきました。そういうところで学ぶということそのものに集中させてあげたり、それがどういう意味があるのかということだったり、そういうことについてもきちんとお話をして子供たちが理解することで、各教科にも向き合う姿勢とか気持ちは変わってくると思います。そういう少し広い点から、精神的な部分へのフォローというか、指導といいますか、そういう学習についても気を配ることが全体の底上げにつながるのではないかと思います。

以上です。

○教育長

ありがとうございました。
他にございませんか。

○C 委員

最後に 1 点だけ。今いただいたデータは紀の川市全体のデータだと思うのですが、やはりそれぞれの学校独自で弱いところ、平均より上回って頑張っているところ、色々あると思うのですが、それぞれ個々の学校で再度分析していただいて、その学校の子供たちの、学年によっても違うと思います。今回の結果は小学校 6 年生と中学校 3 年生ですが、今の小学校 5 年生はここが弱いぞというのをやはり分析をして取り組んでいくことも大事かなと思います。それぞれの学年の特徴をつかんで工夫していただけたらいいと思います。

以上です。

○主任指導主事

小学校 6 年生と中学校 3 年生は全国学力テストがあります。他の学年については小学校 4 年生からですが県の学力到達度もありますので、学校別に結果をまとめていただいて、教頭ヒアリングや校長ヒアリングを継続しながら指導もしており、研究指定を受けたところのその教科が今年すごく上がっているという嬉しいこともありましたので、各学校間の伸びもしっかりと見ながら分析していきたいと思います。

どうもありがとうございました。

○教育長

よろしいですか。

(発言する者なし)

◎「少年メッセージ 2024」和歌山県大会の結果について

○教育長

続いて、「少年メッセージ 2024」和歌山県大会の結果について説明を求めます。

○生涯学習課長

【「少年メッセージ 2024」和歌山県大会の結果について説明】

○教育長

説明がありましたが、これについて何かご意見・ご質問はございませんか。
よろしいですか。

(発言する者なし)

○教育長

ご意見がないようです。

◎旧南丘家住宅活用事業（寄席）について

○教育長

続いて、旧南丘家住宅活用事業（寄席）について説明を求めます。

○生涯学習課長

【旧南丘家住宅活用事業（寄席）について説明】

○教育長

説明がありましたが、これについて何かご意見・ご質問はございませんか。
よろしいですか。

(発言する者なし)

◎文化財保存活用地域計画のアンケート調査について

○教育長

続いて、文化財保存活用地域計画のアンケート調査について説明を求めます。

○生涯学習課長

【文化財保存活用地域計画のアンケート調査について説明】

○教育長

説明がありましたが、これについて何かご意見・ご質問はございませんか。

(発言する者なし)

◎紀の川市スポーツ交流児童派遣事業について

○教育長

続いて、紀の川市スポーツ交流児童派遣事業について説明を求めます。

○生涯スポーツ課長

【紀の川市スポーツ交流児童派遣事業について説明】

○教育長

説明がありましたが、これについて何かご意見・ご質問はございませんか。

(発言する者なし)

○教育長

報告事項につきましては以上となります。

◎その他

○教育長

続きまして、日程第6、その他に移ります。

指定管理者決算報告について説明を求めます。

○生涯スポーツ課長

【指定管理者決算報告について説明】

○教育長

説明がありましたが、これについて何かご意見・ご質問はございませんか。

○B 委員

ミズノさんの昨年度の報告書も正直眉唾系の数字が結構並んでいた記憶があるのですが、計画額と実績にずいぶん開きがあるケースが多いので、資料作成するにあたり1点お願いがあります。昨年度の実績額は今ところどころ口頭での報告あったのですが、資料に足していただけるとわかりやすいというのがありますのでお願いしたいのが1点です。

また、教えていただきたいのが2点ございます。

1点目が、人件費です。こちら3人の職員さんとアルバイト受付12名の合算になっているということですが、職員の部分とアルバイトの部分の内訳をわかれば教えてください。

次に、手数料という項目、ずいぶん計画額と実績額に開きがあるものの一つですが、この入金機及び防犯カメラってなっているのですが、これ具体的にこの2つの何に関する費用なのかわかれば教えてください。

以上です。

○生涯スポーツ課長

まず、1点目の人件費に関する金額になります。これは常勤3名の金額合計で2,067万3,357円、後非常勤、アルバイトの方12名につきましては1,540万5,311円という内訳となっております。

後、手数料についてなんですけども、手数料についてその内訳については少しまだ確認できない部分もありますので、今後確認の上次回の報告ということによろしいですか。

○B 委員

はい、結構です。

○C 委員

収支報告書類は5年度の租税公課505万2,314円の支出になっております。その上にある例えば、備品購入費とか委託料とか、それは消費税を含まない金額なのですか。500万円消費税を払おうと思ったら5,000万円何か発注するか購入するかしないといけないということになります。内訳については消費税等としか書いていないので、消費税500万円を払ったということは5,000万円何か購入したか委託したかということになります。そうしたら、この上の消耗品とか委託料とか、このあたりは消費税を含まない額で別にここへ入れているのでしょうか。そのあたりいかがですか。

○生涯スポーツ課長

その消費税につきましては上の委託料及び備品購入についても恐らく含んでいる金額にはなると考えております。その租税公課等につきましては、インボイスとの関係とか、そのあたり消費税の関係の支払いになっていると思います。これも内容について確認させていただくようにしたいと思います。

○C 委員

もう1点すみません。事業報告書の資料で2枚目ですか。施設利用はかなりの人数が利用してくれているということでありがたいのですが、後2枚目の裏側、例えばテニス

(平日)1回が80分、それを24回実施していますが、延べ参加者数が57人とあります。延べということは、24回で延べ57人ということですかね。1回につき2人ほどしか参加していない。テニス(土日ナイター)であれば80分を25回実施して延べ参加者数が31人ということは1回につき1~2人の参加ということになります。これらをずっと見ていくと、これは実施する意味があるのかと思っています。バトミントン(ジュニア)は39回実施して240人の参加ということで、だいたい1回につき6人ほどの参加です。これは費用対効果や施設の利用という面からしたら、これ1回につき57人の参加というならわかるのですが、延べ参加者数となっているので、そのまま受け取れば24回実施して57人の参加ということになります。このあたりも一度また調べておいてもらえますか。

○生涯スポーツ課長

今C委員おっしゃられたとおり、これは延べ人数となっています。

○C委員

延べ人数っていうと、そういうことですよ。

○生涯スポーツ課長

そうです。

○C委員

1回につき1人か2人の参加者数で実施していてもあまり効果がないように感じます。

○生涯スポーツ課長

1回いくらで払っていただいているというふうに確認しているので、参加できる時に参加して1回限りの人もいると聞いております。

また、その費用対効果の面で言われましたとおり、前回もそんなお話はさせていただいたのですが、やはり人気がないからすぐ辞めるという方向では事業としては成り立っていかないというのがミズノからの見解でありまして、人気がなくともこの事業を何年間も続けていって定着していただくとか、それを普及していくというふうな活動も含めているので、費用対効果が出ないケースも続けていく場合はあるという答えもいただいております。

実際のところ、収支としてはこのテニスに関しては5つの項目あるのですが、恐らく全て収支決算といたしましてはマイナス60万円ほど赤字が出ているというふうな報告もいただいております。ただ、その金額60万円減額だからもう来年は辞めますというふうな形にはしにくく、先程説明した通り普及も含めて引き続き行っていくという方向で考えているということでお答えはいただいております。

○C 委員

もう1点ですね。例えば、土日のナイターとかってなってきましたら、他に使いたい市民がたくさんいると思います。だから、そこも場所を確保できなくなるので、やはり市民体育館であるのであれば、市民の利用を優先すべきではないかなと思うのですが、そこも少し伝えておいていただけたらと思います。

以上です。

○生涯スポーツ課長

そのあたりも併せてお伝えはさせていただきます。恐らくそこまで市民の利用に影響の出るような場所の確保等もしていないと思っております。十分配慮いただいた上での教室開催となっていると考えております。

○教育長

よろしいですか。

○A 委員

2点確認したいのですが、今のC委員おっしゃられたこのスクールの内容について、個人的な意見になりますが、ミズノさんがやってくれるならエキスパートの方に教えてもらいたい人が多くいると思います。基礎的なものは正直いらないと思います。初歩的なものをしたい子たちはまず近所ですと思っています。ただ、体育館の施設を使ってミズノがしているということは、やはりミズノから来るすごい人に教えてもらいたいのがメインになってくると僕は思っています。この資料を見ると、初級・基礎からという内容は参加者数が少ないじゃないですか。やはりもう少し基礎するのであっても、本当の基礎ではなくて、よりレベルアップするため等と名目をつければ、どういうコピーで募集かけているかわからないですけど、やはりミズノがしているというのを全面に出して、ミズノがしているなら少し行ってみたいなと思わせるような、そういう工夫もミズノ側には取り組んでもらいたいなというのが1点です。

後、決算のほうですが、収支報告についてです。まず、光熱費は計画と大きく違っていて、対前年比が200万円ほど増えているということでしたが、そうならなぜそれに近い計画を練っていないのでしょうか。その下の手数料も対前年比のマイナスの8万円ほど減っているとおっしゃられていたのですが、そうならなぜ計画は11万円になっているのか。これで誤差が40万円ほどしかないという不思議な現象が起きています。計画を組むならきちんと組んでほしいです。

先程の税金のこともありますが、電気と手数料に関してはだいたいどれぐらいかわかっているはずですが、電気代が上がったとしても、当初の予算があまりにも少なすぎるので、

そのあたりはやはり市から委託している事業になりますので、いくら使ったかはきちんとやってくれているとは思いますが、せめて計画はもう少しまともに組んでほしいというのがこれを見ての感想です。

以上です。

○生涯スポーツ課長

まず、1点目のミズノさんがするのだからもっとレベルの高い教室をとということですが、その旨を最初の会議等でもお話はさせていただいたのですが、一応ミズノといたしましてはジュニアから段階を踏んでだんだんレベルを上げていきたいという意向もあったということで、いきなりトップレベルの選手呼んで来てくれるかどうかというところも色々確認して、他の指定管理を受けているところの対応等々も色々協議した結果、今このような形で対応しているというふうには聞いてございます。また、今後レベルの高いような教室なども開催できるように協議等は行っていきたいと思います。

収支決算につきましては、全く言われるとおりで思うところもあるのですが、計画と実績の差が開きすぎてるといというのは、去年もお伝えはさせていただいています。ただ、ミズノさんから出てくる結果としていただいているので、もう少しその辺指導という形では対応させていただいて、なるべく決算と近い数字の計画というのを見直してもらうような形で指導していきたいと思います。ご意見ありがとうございます。

○C 委員

指定管理のミズノさんと運営委員会というものがあるのですが、それにも報告してもらえますか。今年度はまだ委員会がないかなと思うのですが。

○生涯スポーツ課長

今C委員おっしゃられるその運営委員会についてですが、あれは年に1回年度末近くに利用者含め代表として何人かご参加いただいて、後各委員との中での意見のやり取りというのはさせていただいているところでございます。

後、決算につきましてはその委員への報告というのは特にしていないと思うので、監査委員さんの定期監査のような形で報告というのは一時期やらしてもらったとは思いますが、その運営委員会の中での決算報告というの恐らく前年度もやっていないと思うので、今後必要であるようであれば少し協議はしてみないとわからないのですが、運営委員会の中でそこまでやるというふうな方向では決まっていらないと思っております。

○C 委員

第1回目の運営委員会の時は資料も何もなしで、口頭で少し説明があっただけで、資料を付けてほしいという話をしています。指定管理が始まった令和4年度から、何年か

経って今回の資料のように写真も入っているし、見やすくなってきているのですが。やはり年に1回運営委員会をするのであれば、決算は別にいいですが、この利用状況とかそういうことをきちんと定例で共有を行っていただければありがたいと思います。

以上です。

○生涯スポーツ課長

その運営委員会につきましても要綱・規則色々確認しながら、皆さんに資料の報告もさせてもらえるような形で少し検討していきたいと思います。

○C委員

検討ではなくてミズノさんはする義務があるのではないですか。

○生涯スポーツ課長

運営委員会の中で報告の義務があるのかどうかというのは、会則等を少し確認させていただきたいと思います。

○C委員

入札の時に、報告するという話はあったと思います。

プレゼンの中でミズノはこういう方向でやっていきます、きちんと報告しますというような話があったと思います。

○生涯スポーツ課長

報告というのは事業の報告のことで、今回の資料のようなものでいいということでしょうか。

○C委員

決算の報告は市へする義務があると思うのですが、運用とか運営、使用状況等についての報告と協議というか。これももう少し減らしてこっちを増やしてほしいなどの、そういう利用者の立場からの要望もあると思うので、それを定期的に報告いただいた上で協議していくということが必要ではないかなと思います。

○生涯スポーツ課長

確認した上で対応できるようにしたいと思います。

○教育長

よろしくをお願いします。

他にございませんか。

○B 委員

一番大きく持つておくべき視点というのは、この管理委託業務をミズノへ委託し続けるのかどうかという判断の視点は持つておかなければいけないと思います。現状、人件費また社会保険料、一般管理費も入れるとざっと 5,000 万円ぐらいで、後去年の数字でも一番引っかけたのが実は委託料のところですよ。個人の事業者として言わせてもらえば、去年の数字を見ても作った数字だと非常に感じて、今年も同じような印象を感じているわけですが、操作できる数字として大きいのはこの委託料です。関連会社やグループ会社でいくらでも調整がつく項目になります。

それを含めて考えた時に、今ミズノであるが故に利用者が増えているという点があまり大きく期待できないっていう、実績そんなにならないように思います。C 委員も A 委員もおっしゃったように、ミズノがやってくれているから来てくれている人というのはそんなにいないのではないかと感じます。そう考えた際には、そのサービスの内容が変わらなければ、直営のほうが割安だろうというのが個人的な私見です。

そのあたりもう少し精査すべきところを精査しながら、求めることは求めていってよいと思うので、こうなった場合は逆に事業としてはデッドラインといたしますか、これは直営にするというラインも決めて、その視点からの判断であったり精査というのをお願いしたいと思います。

以上です。

○生涯スポーツ課長

委員おっしゃられることは重々認識をしておるのですが、一応 5 年間の契約をさせていただいております、その後指定管理の委員会や会議等もございますので、そのあたりの会議、中身・内容を精査しながら今後についても検討していきたいと考えております。

○教育長

よろしく申し上げます。

他にございませんか。

よろしいですか。

(発言する者なし)

○教育長

その他で何かございませんか。他にございませんか。

(発言する者なし)

○教育長

ないようです。

以上で本日の日程は全て終わりましたが、それ以外に何かございませんか。
事務局。

○事務局

それでは、事務局から次回の教育委員会の日程を連絡させていただきます。

次回の教育委員会定例会の日程は9月26日木曜日、午前9時30分から、こちらの402会議室において開催させていただきますのでよろしくお願いします。

事務局からは以上です。

○教育長

他にございませんか。

(発言する者なし)

◎閉会の宣告

○教育長

それでは、これで第8回の教育委員会定例会の議事は終了いたしましたので、これで定例会を終わります。

どうもご苦労さまでした。